

## 御挨拶

3月11日の史上例をみない惨禍から1年が経とうとしています。この間、本学教職員の働き振りは、“見事”の一言に尽きました。突然の非常時に、すべての教職員、学生ならびに本学関係者は、各自の能力と知恵で、次々と、困難な課題を克服して今に至っています。

今回の対応で得た我々の経験それ自体が、次の世代の県民、国民、そして人類へ引き継いでいくべき価値あるものです。今後も、長く、厳しい斗（たたか）いが続きます。これからもこの使命を果たすことに誇りを持って、前へ歩を進めましょう。

この1年間、“時”を共にして教職員と共に働いてきたことを、私自身は生涯誇りに思って生きていきます。学生諸君を含めた、すべての本学構成員の皆様への働きに心から感謝します。これからも覚悟と愚直さを持って、一致団結して前へ進んでいきましょう。

平成24年3月9日

福島県立医科大学理事長兼学長  
菊地 臣 一